SONY

4-486-833-**03** (1)

ライブビューリモコン

取扱説明書

本書とあわせて、本機内蔵のハンドブック（PDF）もお読みください。

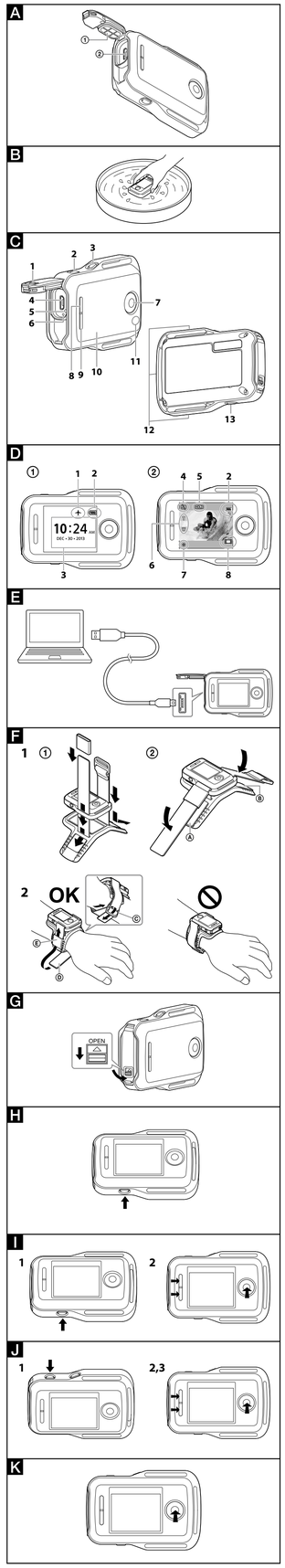
© 2013 Sony Corporation
Printed in China
http://www.sony.net/

4486833030

RM-LVR1

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよく読むのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



⚠警告　安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、または**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずおりやくください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、Multi／マイクロUSB端子にほこりがたまっていないか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

本機の動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら → ❶ 電源を切る ❷ Multi／マイクロUSB端子を抜く ❸ ソニーの相談窓口に連絡する

⚠危険　万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険　この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告　この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意　この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号：火災、感電
行為を禁止する記号：禁止、分解禁止
行為を指示する記号：指示

電池について
「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

⚠警告　火災　感電　下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。（分解禁止）

内部に水や異物（金属類や燃えやすいものなど）を入れない
火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切ってください。USB接続している場合は、Multi／マイクロUSB端子を抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。（禁止）

運転中に使用しない
自動車、オートバイなどの運転をしながら、本機の操作は絶対おやめください。交通事故の原因となります。（禁止）

撮影時は周囲の状況に注意をはらう
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。（禁止）

指定以外の方法で充電しない
火災やけがの原因となることがあります。（禁止）

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない
付属品などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。（禁止）

ケーブル類を傷つけない
熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。（禁止）

⚠注意　火災　感電　下記の注意事項を守らないとけがや財産に損害を与えることがあります。

油煙のあるところでは使わない
火災の原因となることがあります。（禁止）

USBケーブルを、ぬれた手や、水滴のかかる場所、湿気、ほこり、湯気の多い場所で使わない
機器本体以外は防水仕様ではありません。
感電の原因になることがあります。（禁止）

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。（禁止）

コード類は正しく配置する
接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。（指示）

充電中の製品に長時間ふれない
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。（禁止）

長時間使用しない
体調のすぐれない方や、皮膚が弱い方、血行障害の方などは、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合がありますので、長時間のご使用はお控えください。（禁止）

使用中は機器を布で覆ったりしない
熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。（禁止）

長時間使用しないときは、電源をはずす
長時間使用しないときは、USBケーブルを本体からはずして、保管してください。火災の原因となることがあります。（禁止）

ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。（指示）

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。（禁止）

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。（禁止）

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。（指示）

機器認定について
本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、廃棄時以外には以下の事項を行うと法律に前せられることがあります。
- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある説明ラベルをはがすこと

周波数について
本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意して使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項
本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要する無線局）等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の「保証書とアフターサービス」をご覧ください。

2.4DS / OF2　この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM 変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

機器板について
機器板は本体下部にあります。
確認が必要な際は、ベルトをはずして覗ください。

お使いになる前にお読みください

本書と合わせて、本機内蔵のハンドブック（PDF）を次の手順でご覧ください。
①充電された本機とパソコンをマイクロUSBケーブル（付属）で接続する。
②電源ONにする。
③パソコンの画面で、［コンピュータ］→［PMHOME］→［HANDBOOK］の順番に表示させ、ハンドブックを参照してください。

主な特長

- 本機はソニーのWi-Fi機能付きカメラを操作することができます。ただし、すべてのカメラに対応しているわけではありません。対応機種、機能については、ホームページ等をご確認ください。
- 本機は撮影の基本操作（動画撮影・静止画撮影、カメラの設定変更）ができます。
- 本機は防水仕様となっています。海辺または雪や雨などの悪天候で使用できます。
- 付属のマイクロUSBケーブルを使用し、パソコンやAC-UD20（別売）から充電できます。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所
- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所

動作温度に注意する
本機の動作温度は約－10℃～＋40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所でのご使用はおすすめできません。
- 使用中に液晶モニターやキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

結露について
結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機内に水滴が付くことで、故障の原因になります。
結露が起きたときは
電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。
結露が起こりやすいのは
次のように、湿度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりすると起きます。
- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 高湿多湿の場所

Wi-Fi機能について
- ご使用になる場所の規制に従ってお使いください。
- 水中ではWi-Fiはお使いいただけません。

無線に関する機能（Wi-Fi）を一時的に無効にするには
飛行機などに搭乗すると、一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。
- ［飛行機モード］を［ON］に設定すると、本機の液晶モニターに✈が表示されます。
設定方法の詳細については、「本機を使う」の「6 設定を変更する」をご覧ください。

液晶モニターについて
- 液晶モニターを太陽に向けたままにすると、液晶モニターを傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、液晶モニターが暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 固定された画像または静止画を長時間表示した場合、残像や焼きつきの原因となることがあります。

液晶モニターの輝点・滅点について
本機の液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長時間ご使用の間にこれらが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

お手入れのしかた
液晶モニター画面のお手入れについて
液晶モニターの画面は反射による映り込みを抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをおりやくください。
- スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

表面をきれいにする
- ホやゆる末端を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
  本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はけわないでください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類を使うこと
  – 上記が手についたまま本機を扱うこと
  – ゴムやビニール製品と長時間接触させること

防水性能について
本機は防水性能を備えていますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外になります。
- 高い水圧がかかることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- 温泉で使用しないでください。
- 推奨動作温度0℃から40℃の水温でご使用ください。

水中・水辺で使用する前のご注意
- 砂、髪の毛、ほこりなどの異物を、Multi端子カバーに挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水の原因となります。
- 防水パッキン Ⓐ、防水パッキンの当たる面Ⓑに傷がついてないことを確認してください（イラスト A）。わずかな傷でも浸水の原因になります。傷がついてしまった場合は、修理相談窓口にご相談ください。
- 防水パッキン、防水パッキンの当たる面にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。
- 水辺での使用中や、手に水や砂がついているときは、絶対にMulti端子カバーの開け閉めをしないでください。水や砂が本機の中に入って故障の原因となります。Multi端子カバーを開ける前に必ず、「水中・水辺で使用した後のお手入れ」を行ってください。
- 完全に乾いた状態でMulti端子カバーを開けてください。
- Multi端子カバーが確実にロックされていることを必ず確認してください。

水中・水辺で使用中のご注意
- 水中に飛び込むなど、本機に衝撃を与えないでください。
- 水中・水辺でMulti端子カバーの開け閉めを行わないでください。
- 本機は水中で沈みます。水没防止の為にベルトをご使用ください。

水中・水辺で使用した後のお手入れ
- 使用後は60分以内で、Multi端子カバーを開ける前に必ず水洗いしてください。見えないところに水や砂が入りこんでいることがあり、塩、砂等を付着したままにしておくと防水性能が劣化します。
- 容器にためた真水に5分程度つけ置いてから、水の中で本体を揺すったり、各ボタンを動かしたりして、ボタンのすきまに入った塩、砂等をしっかりと洗い流してください。（イラスト B）
- 洗ったあと、柔らかい布で水滴を拭き取り、風通しの良い日陰で充分に乾かしてください。ドライヤーの熱風で乾燥させると、変形により防水性能が劣化するおそれがあるため、行なわないでください。
- Multi端子カバーの内側に水滴や異物が残っていたら、やわらかい乾いた布で拭き取ってください。
- 水につけた際、泡が出ることがありますが、故障ではありません。
- 日焼け止めやサンオイルが付着すると、表面が変色することがあります。付着してしまった場合は速やかに拭き取ってください。
- 塩水に浸した状態や、塩水が付着した状態で放置しないでください。腐食や変色、防水性能の劣化の原因になります。

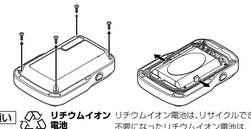
廃棄するときは
- 本体内蔵のバッテリーを取りはずしてから廃棄してください。

バッテリーを取りはずす
本体内蔵のバッテリーはリサイクルできます。
廃棄するときは、バッテリーを取りはずし、リサイクル協力店へお持ちください。

⚠注意
バッテリーを取りはずすときは、次のことに注意してください。
- 小さなお子様の手の届かないところで行ってください。ネジなどの部品を誤って飲み込むおそれがあります。
- 爪や指などにけがをしないよう、充分に注意してください。

重要
本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジを取りはずさないでください。不当な分解が行われたと当社が判断した場合は、交換／修理をお断りします。

1 ON/OFF（電源）ボタンを押し、電源を切る。
2 接続しているケーブル類を取り外す。
3 プラス（＋）ドライバーでネジを取りはずす（4か所）。
4 カバーを取りはずす。
5 爪を外側に押しバッテリーを取りはずす。



お願い　リチウムイオン電池　Li-ion
リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

バッテリーについて

充電について
- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10℃～30℃の範囲で、CHG（充電）ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 次のとき、充電中のCHG（充電）ランプが点滅することがあります。
  – バッテリーが故障しているとき
- 本機の温度が低いときは、暖かいところに置いてください。
- 本機の温度が高いときは、涼しいところに置いてください。

バッテリーの使用時間

本機の状態	画面表示	使用時間
REC	Live View	約240分
Wi-Fi ON	時計表示	約280分
Wi-Fi OFF	時計表示	約340分

ご注意
- 満充電したバッテリーを使用し、☼パネル明るさ HI、周囲温度25℃で使用した場合のおおよその使用時間です。

バッテリーの残量を確認する
液晶モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。
多 → 少 → なし

ご注意
- 正しい残量を表示するのに約30秒かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーの上手な使いかた
- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。

バッテリーの残量表示について
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示にならない場合があります。

温度保護機能について
- 本機やバッテリーの温度によっては、本機を保護するために自動的に電源が切れることがあります。
  電源が切れる場合は、切れる前に画面にメッセージが表示されます。

バッテリーの保管方法について
- 本機を長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、半年から1年ごとに充電するようにしてください。また、本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について
- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますのでソニーの相談窓口へお問い合わせください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

C 各部の名前

1 Multi端子カバー
2 MENUボタン
3 DISPボタン
4 Multi／マイクロUSB端子
5 RESET（リセット）ボタン
6 CHG（充電）ランプ
7 REC/ENTERボタン
8 UPボタン
9 DOWNボタン
10 液晶モニター
11 REC/Wi-Fiランプ
12 ベルト取り付け部
13 ON/OFF（電源）ボタン

D 液晶モニターの画面表示について

① 時計表示画面
② Live-View画面

1 飛行機モードアイコン
  本機が飛行機モードのときに表示されます。
2 バッテリー残量表示
3 時計表示
4 メモリーカード警告表示アイコン
5 ボタンホールドアイコン
6 ズーム表示
7 RECアイコン
8 撮影モード表示
  動画撮影時は🎥、静止画撮影時は📷、インターバル静止画記録時は🕒、音声記録時は♪が表示されます。

本機を準備する

E 本機を充電する

1 本機の電源がOFFになっていることを確認する。
2 本機のMulti／マイクロUSB端子にマイクロUSBケーブル（付属）を接続する。
3 マイクロUSBケーブルをパソコンまたはAC-UD20（別売）に接続する。
  充電を開始すると本機のCHG（充電）ランプがオレンジに点灯します。
  CHG（充電）ランプが消灯したら充電完了です。

ご注意
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- 電源がONになっているときは給電となり、充電されません。

F 本機にベルトを取り付ける

本機をベースプレートの上に置き、ベルト取り付け部にイラスト F-1①のようにベルトを通し、イラスト F-1②のように、取り付ける。
取り付けの際、イラスト F-1③の◎、◎の貼り付け位置によって長さが調整可能です。
腕に取り付ける際は、イラスト F-2のようにベルト取り付け部が手首側になるようにし、ベルトを◎に通して折り返してください。余ったベルトの端◎は◎に通してください。
指定以外への取り付けは、けがなどの原因となる場合があります。
腕に取り付ける際は、必ず同梱のベースプレートとベルトを正しく取り付けてご使用ください。

ご注意
ベルトの取りはずしの際、本機が落下しないようご注意ください。

本機を使う

6 電源を入れる前に

Multi端子カバーがしっかり閉まっていることをご確認ください。
Multi端子カバーのツマミの、黄色いマークが見えなくなるまでしっかりと閉じる。
- Multi端子カバー内に砂などの異物を挟み込むと、防水パッキンが傷つき、浸水の原因になります。

4 本機の電源を入れる

本機が充電された状態でON/OFF（電源）ボタンを押す。
- 初めて電源を入れたときには、日時設定画面が表示されます。
  「6 設定を変更する」の「4 時計設定」をご覧ください。

電源を切るときは、再度ON/OFF（電源）ボタンを押します。

1 本機とカメラをWi-Fiで接続する（📷－📷：SINGLE接続）

1 本機とカメラの電源を入れる。
2 本機の液晶モニターにWi-Fi機器選択画面が表示されたら、UPボタンまたはDOWNボタンを押して接続したいカメラのSSIDを選択し、REC/ENTERボタンを押す。
  お使いのカメラのSSIDについては、カメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
本機には、カメラのSSIDから「Direct-」を省略した文字列がSSIDとして表示されます。

3 接続したいカメラの画面に［ACPT?］が表示されたらENTERボタンを押し、Direct接続を許可する。（アクションカムをご使用の場合）
  本機の液晶モニターがLive-View画面に切り替わり、REC/Wi-Fiランプが青く点灯します。

ご注意
カメラに表示される画面やDirect接続を許可するために押すボタンなどは、お使いのカメラによって異なります。詳しくは同梱の「セットアップガイド」、またはお使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

本機とお使いのカメラがWi-Fiで接続されます。
本機とお使いのカメラがWi-Fiで接続されているときは、REC/Wi-Fiランプが青く点灯します。
次回以降、同じカメラに接続する場合は手順2、3の操作は必要なく、自動で接続動作に入ります。
環境により通信が切断された場合やメニューから📷 ⇄ 📷切断を選択して実行したときは、自動でカメラと接続されないため、「1 本機とカメラをWi-Fiで接続する」の手順2、3を行ってください。

2 設定を変更する

本機のMENUボタンを押すと、本機の設定をすることができます。
本機とカメラがWi-Fi接続されているときに本機のMENUボタンを押すと、接続されたカメラの設定をすることができます。
1 MENUボタンを押す。
  設定項目一覧が表示されます。
2 UPボタンまたはDOWNボタンを押して設定したい項目を選び、REC/ENTERボタンを押す。
3 UPボタンまたはDOWNボタンを押して好みの設定値を選び、REC/ENTERボタンを押す。

設定項目		
📷 ⇄ 📷 切断		カメラとのWi-Fi接続を切断し、Wi-Fi機器選択画面に戻ります。
MODE撮影モード		カメラの撮影モードを切り替えることができます。 表示される設定項目は、接続するカメラによって異なります。
録画モード**		接続しているカメラの録画モードが変更できます。 接続するカメラが動画撮影に設定されている場合のみ設定が可能です。 REC/ENTERボタンを1回押す： 現在の録画モードアイコンが表示されます。 REC/ENTERボタンを2回押す： 録画モード選択画面が表示されます。
カメラ設定*	手ブレ補正設定	カメラの手ブレ補正設定を切り換えることができます。 ON：手ブレ補正機能を使う。 OFF：手ブレ補正機能を使わない。
	画角設定	カメラの画角設定を切り換えることができます。 120°：120°設定 170°：170°設定
	画面回転	液晶モニター、UPボタン/DOWNボタンの方向が変更できます。 右腕にベルトを取り付ける場合などにご利用ください。 ON：反転 OFF：反転なし
	パネル明るさ	本機の液晶モニターの明るさを設定します。 HI：明るい LO：暗い
メイン設定	時計設定	年月日および時間を設定します。 また年月日の表示形式も選択できます。
	オートパワーOFF	オートパワーオフまでの時間を設定します。 30min：30分 5min：5分 1min：1分 OFF：オートパワーOFFなし
	設定値リセット	各設定値を工場出荷時の設定に戻します。
	バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示します。
ネットワーク設定	接続設定***	本機の接続設定が変更できます。 📷－📷：SINGLE接続 1台のカメラを操作する。 📷－📷：MULTI接続 複数台のカメラを操作する。
	飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、一時的にWi-Fi機能を使用する機能をすべて無効にします。 ON：飛行機モード設定 OFF：飛行機モード未設定

*　表示されるアイコンは、接続するカメラのモードによって異なります。
**　表示されるアイコンは、接続するカメラおよび接続時の録画モードによって異なります。
***　表示されるアイコンは、本機の接続設定状態によって異なります。

ご注意
- お使いのカメラによっては、対応していない項目、設定値があります。
- 本機がカメラにWi-Fi接続されていないときは、カメラの設定は変更できません。
- 設定値選択画面から設定項目選択画面に戻るには、↩を選択してください。
- 選択画面で選択した設定項目または設定値を実行するには、**OK**を選択してください。

K 撮影する

動画／インターバル静止画撮影時
1 REC/ENTERボタンを押して、撮影を開始する。
  REC/Wi-Fiランプが青の点灯から赤の点灯に変わります。
2 撮影を停止するときは、もう一度REC/ENTERボタンを押す。
  REC/Wi-Fiランプが赤の点灯から青の点灯に変わります。

静止画撮影時
REC/ENTERボタンを押す。

時計表示
本機の液晶モニターがLive-Viewのとき、または動画撮影時にDISPボタンを押すと、本機の液晶モニターに時計が表示されます。
もう一度DISPボタンを押すとパネルがOFF状態になり、その状態から再度DISPボタンを押すとLive-Viewに戻ります。

DISPボタン操作による画面表示切り換え
本機とカメラを接続した状態でDISPボタンを押すと、Live-View表示→アイコン消灯→時計表示→画面OFFの順で、本機の液晶モニター表示が切り替わります。
画面OFFの状態で再度DISPボタンを押すとLive-Viewに戻ります。

ボタンホールド機能
本機とカメラを接続した状態でMENUボタンを2秒以上押すとボタンホールド状態になり、携帯時に誤って本機のボタンが押されることを防ぎます。
ボタンホールドを解除する場合は、ボタンホールド状態で再度MENUボタンを2秒以上押すか、ON/OFF（電源）ボタンを押して電源をOFFにしてください。

ズーム
本機の液晶モニターがLive-View表示または録画中にUPボタン/DOWNボタン押すと、カメラのズームが操作できます。
ズーム機能は、対応カメラでのみ使用できます。詳しくは、カメラの取扱説明書、互換情報もあわせて参照してください。

マルチカメラコントロール
HDR-AS100Vをご使用の場合、本機で最大5台のカメラを同時に操作することができます。
詳しくは本機内蔵のハンドブックをご確認ください。

故障かな？と思ったら

□ **電源が入らない。**
→ バッテリーを充分に充電してください。
□ **電源が切れる。**
→ 操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。
→ （オートパワーOFFの設定で ON / OFF）を選択すると、自動的に電源が切れなくなります。
□ **充電できない。**
→ 本機の電源を切ってから接続してください。
→ マイクロUSBケーブル（付属）をいったんはずして、接続し直してください。
→ マイクロUSBケーブル（付属）を使用してください。
→ 充電に適した温度範囲（10℃～30℃）で充電してください。
→ パソコンの電源を立ち上げてから本機を接続してください。
→ パソコンのスタンバイ（スリープ）、休止状態を解除してください。
→ パソコンのUSBコネクターにマイクロUSBケーブル（付属）を直接つないでください。
□ **バッテリーの残量表示が正しくない。**
→ 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
→ 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
→ 満充電し直す。それでも正しく表示されないときはバッテリーの寿命です。
  ソニーの相談窓口へお問い合わせください。
□ **カメラとWi-Fiの接続ができない。**
→ 対応されているカメラか、ホームページで確認してください。

それでも解決しないときは、本機のRESET（リセット）ボタンを押してください。

エラー表示

機能のエラー情報として、本機の液晶モニターに次のようなエラー番号が表示されることがあります。

エラー番号	症状	原因
01-01 02-02	接続に失敗しました。	電波の混雑、接続先との距離が離れすぎているなどが考えられます。
01-02		機器情報に差分があります。 メイン設定→設定リセットを実行し、「1 本機とカメラをWi-Fiで接続する」の手順を行ってください。
01-03 01-04		非対応のカメラです。
03-01 03-02		• 認証できませんでした。接続する機器側での操作が必要です。 • 電波の混雑、接続先との距離が離れすぎているなどが考えられます。
02-01	カメラ側がエラーになりました。	接続先のカメラまたはメモリーカードを確認してください。
04-03	設定できませんでした。	カメラをご確認ください。
05-01	撮影できませんでした。	
05-02	撮影が開始できませんでした。	
05-03	撮影が停止できませんでした	
04-04	カメラからの応答がありませんでした。	• カメラをご確認ください。 • 電波の混雑、接続先との距離が離れすぎているなどが考えられます。

自己診断
モニターにアルファベットではじまる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。
修理が必要な場合があるので相談窓口にご相談いただき、ほそたにからはじまる数字すべてをお知らせください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、Webで提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
ライセンス内容（英文）に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。本機とパソコンをMass Storage接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

商標について

- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

主な仕様

［充電用入力端子］
マルチ／マイクロUSB端子： micro-B/USB

［電源・その他］
電源電圧： **バッテリー端子入力：** 3.6 V
USB端子入力： 5.0 V
USB充電： DC 5.0 V、500 mA/800 mA
充電時間： **パソコン経由：** 約245分
AC-UD20経由： 約175分
消費電力： 1.0 W（Wi-Fi接続状態でLive-View表示時）
防水性能： 水深3 m、連続30分
動作温度： －10℃～＋40℃
保存温度： －20℃～＋60℃
外形寸法（約）： 72.3 mm × 50.2 mm × 20.8 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
質量： 約63 g（バッテリーを含む本体のみ）
使用時総質量： 約93 g（付属ベルト、ベースプレート含む）
同梱物： 本機（1）、マイクロUSBケーブル（1）、ベルト（1）、ベースプレート（1）、印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されておりますので、お買い上げの際お買い上げ店で必ず受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低7年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
- **品名：RM-LVR1**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日**

サポート情報
製品の最新サポート情報
（製品に関する Q&A など）
http://www.sony.jp/support/actioncam/

製品ホームページ
http://www.sony.jp/actioncam/
製品の最新情報、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……0120-333-020 携帯電話・PHS：一部のIP電話 ……050-3754-9577	フリーダイヤル ……0120-222-330 携帯電話・PHS：一部のIP電話 ……050-3754-9599 ※取扱説明書（リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「405」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1